

せ び て ん 青天

三学年
学年だよ

令和5年7月14日発行 vol.3

臨海教室を終えて

「なぜ戦争が起こるのか。」私はそんなことを考えながら、様々な書籍を読んで、この度の臨海教室に参加をしました。戦争は起こしてはいけないものであると誰しも思うものですが、人間はその愚かな歴史を何度も繰り返します。戦争の起こる原因には多くの要素が複雑に絡んでおり、様々な観点から考える必要があることから一概には言えませんが、私はその原因の一つに、人と人とのコミュニケーション不足が挙げられると考えています。国同士、とことんまで話し合おうという姿勢がなくなり、相手に暴力で訴える。それが戦争です。これは、少し次元を変えて個人個人の「けんか」のようなものと捉えることも出来るでしょう。そうした「けんか」の多くは、お互いの気持ちが、相手に十分理解されなかったことで起きてしまうことが多くあります。冷静に相手の言い分を聞くことで「なんだ、そんなことを考えていたのか。自分も悪かったな」と思うこともよくありますよね。それが国同士になって表れたもののような気がしてなりません。

人間が与えられた偉大な能力。それは周囲に自分の気持ちを正確に伝えることの出来る「言葉」です。「言葉」によって相手に自分の気持ちを伝えることが出来るから、人間は周囲との関係を上手く築くことが出来、自分の気持ちをしっかりと言葉で伝え、相手に理解してもらうことで「誤解」や「ずれ」が少なくなっていく。国の「けんか」でも同じようなことが言えるでしょう。これらをなくしていくためには、国の代表者が徹底してコミュニケーションを取るしかないと考えます。私たち個人の「けんか」でも、周囲との対話を相手に理解出来るまで続けていくことが、やがては国の「けんか」にも繋がる気がしてなりません。国の中心者は、私たち一人ですから。小さなことのように見えますが、それが戦争をなくす為の一番の近道となるような気がしています。そんなことをこの度の臨海教室を通して感じました。

保護者の皆様、まずはここまで賜りましたご協力に感謝いたします。ありがとうございました。いよいよ高校生活最後の夏休みとなりました。はっきりと見えない将来に、生徒たちはこれまで以上に不安を抱え、また、時には躓くこともあるかと思いますが、一人一人が自分の道を自分の力で切り拓いていけるよう、私たちも全力で支えてまいります。今後とも変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

3 学年主任・2 組担任:鈴木 茂彦

事前学習に対する前向きな取り組みはもちろんのこと、現地での「時間」や「ルール」に対する意識の高さからは、臨海教室を成功させようという強い思いが溢れていました。平和学習という大きな目標に向けて、全力で取り組んできたからこそ、現地で過ごす全ての時間がかけがえのない思い出になったのだと思います。これは、臨海教室に限らず、全ての事柄に対して言えることだと思います。来週に実施される大智学園の中間試験や、その後の学校生活においても、存分に活かしていただきたいと思います。これからも応援しています。

3 学年副主任・1 組担任:内野 慎一郎

この3泊4日は皆さんの人生において、忘れられない思い出になったのではないのでしょうか。緊張感のある平和学習、笑顔溢れるマリンスポーツや沖縄の文化に触れた観光など、貴重な経験を積むことが出来ましたね。特に平和学習で学び、感じたことを決して忘れず、国際社会を見るようにしてください。これからの学校生活では進路活動が本格化していきますが、何事にも真剣に取り組むことが、皆さんの人生において貴重な経験になるでしょう。応援しています！

3 組担任:玉谷 圭

臨海教室、そして事前学習を含めると沢山の挑戦に溢れた宿泊行事になりましたね。班で協力して行った大掛かりな調べ学習、発表。文理に入学してから初めて飛行機に乗り、自然豊かな街並みに足を踏み入れ、平和学習をしたことなど、多くの体験をしました。それらに不安な気持ちを抱いていた人もいたとは思いますが、今振り返ると、とても良い経験に、そして思い出になってはいませんか。これからの進路活動で戸惑いを感じることもあるかもしれませんが、そんなときは、今回の経験を思い出して突き進んでいきましょう！

4 組担任:河上 美紗

臨海教室で、皆さんは多くの経験を積むことが出来ました。平和学習で戦争の悲惨さと平和の尊さを学んだこと、マリンスポーツへの挑戦、観光コースでの絵付け体験などたくさんの思い出を作れたと思います。また、今まで経験することのなかった沖縄の文化に触れることで、自身の視野が少し広がったのではないのでしょうか。今回の宿泊で得た経験を、残りの学校生活でどう活かしていくかをしっかりと考え、日々の学校生活や行事、進路活動を通してさらなる成長に繋げていきましょう。

3 学年副担任:バトラー マイケル

沖縄臨海教室での4日間を思い出すと、みなさんの非常に真剣な表情が思い出されます。それも全て、事前学習に対する真面目な取り組みや心構えがきちんとできていたことなど、様々な要素が結びついた結果なのではないでしょうか。みなさんと話している中で、「あっという間だった」という声をいくつも聞きました。時間を忘れるほど全力で学び全力で楽しめた今回の臨海教室は、みなさんにとって本当に貴重な経験になったと思います。ぜひ、今回の経験で得たもの、頑張ったことを忘れずにいてほしいと思います。

3 学年副担任:阿部 咲恵

7月・8月予定

- 18日(火)・19日(水) 大智学園中間試験(川内村)
- 25日(火)~27日(木) 運動部合宿(希望者のみ)
- 31日(月) 夏期講習(9:40~12:30)
- 8月
- 1日(火)~4日(金) 夏期講習(9:40~12:30)
- 17日(木)・18日(金) 三者面談
- 19日(土) 模試(希望者のみ)
- 21日(月)~23日(水) 三者面談
- 29日(火) 1,3限:LHR 2限:学年集会
4限:避難訓練《昼食不要》
- 30日(水) AM:体育(有明スポーツセンター)

夏期休暇:7月20日(木)~8月28日(月)

9月予定

- 6日(水) 金曜時間割 《昼食不要》
- 9日(土) 公開授業日 AM:月曜時間割 PM:選択A
- 11日(月) 公開授業日代休
- 13日(水) 月曜時間割 《昼食不要》
- 17日(日) 体育祭 《昼食必要》
- 19日(火) 体育祭代休
- 20日(水) 金曜時間割 《昼食不要》
- 22日(金) 前期試験 《昼食不要》
- 25日(月) 前期試験 《昼食不要》
- 26日(火) 試験休み 《昼食不要》
- 27日(水) 試験返却日 《昼食不要》
- 28日(木) 試験休み
- 29日(金) 1,3,4限:LHR 2限:前期終業式
《昼食不要》
- 30日(土) 英語検定(希望者のみ)



講話・ひめゆりの塔

- ・ ひめゆり学徒隊の方々が今の僕たちと同じような年代で戦場に駆り出されたことを知り、とても心が痛くなりました。話を聞かないと知ることが出来なかった多くのことがあり、とても貴重な時間でした。(1組)
- ・ 被害者の方々の写真が壁一面に貼られており、戦争の恐ろしさ、被害の大きさを改めて実感しました。また、ビデオで流されていたひめゆり学徒隊の方々のお話は、非常に分かりやすく、当時の状況が鮮明に思い浮かびました。(2組)
- ・ 下地さんのお話は生々しく、聞いていてとても辛い気持ちになりました。ですが、なかなか聞くことの出来ないお話を沢山聞くことが出来た貴重な体験になりました。(3組)
- ・ 色々な展示やお話から、命の大切さと戦争の残酷さを学びました。(4組)

平和祈念公園・平和祈念資料館

- ・ 平和祈念公園には、亡くなられた方の石碑が沢山ありました。中には赤ちゃんの名前もあり、とても悲惨な思いをしたのだと改めて感じることができました。また、来場者が石碑の名前を指で撫でている場面を見て、とても胸が痛くなりました。(1組)
- ・ 平和の礎に刻まれた名前の多さを見て、戦争は絶対にしてはいけないと改めて感じました。(2組)
- ・ 想像以上の多くの名前が刻まれた平和の礎を見て、心が苦しくなりました。(3組)
- ・ 平和祈念資料館で写真を見た時、私たちのような若者を含む大勢の方が戦争で亡くなったことを改めて実感しました。(4組)

美ら海水族館

- ・ 深海魚がとても綺麗でした。フロア全体が暗く、そこにライトで薄く照らされている水槽は幻想的な雰囲気が演出されていました。(1組)
- ・ ジンパイヤメが想像していたよりも大きくて、迫力がすごかったです。イも、とても近くで見ることができました。(2組)
- ・ 美ら海水族館の生き物たちは東京の水族館より興味深い生き物ばかりで感動しました。(3組)
- ・ 美ら海水族館では小さな魚たちからジンパイヤメやイといった大きな魚などを幅広く見る事ができて嬉しかったです。(4組)

臨海教室in沖縄

臨海教室での様子を
広報委員より報告します！

3-1	中西	テスニ	林	鐘守
3-2	岩松	昭衛	西村	悠斗
	馬場	翔吾	村山	咲羽
3-3	吉良	灯馬	小西	優輝
3-4	磯貝	光希	上田	一彦
	式田	良洋	鈴木	優斗
	福原	美心		

マリンスポーツ

- ・ 海はとても青く、珊瑚も綺麗でした。海と天気の良い両方に恵まれた中でマリンスポーツ体験ができました。(1組)
- ・ シュノーケリングが特に楽しかったです。初めての海で最初は恐怖を感じましたが、最後はとても楽しめました。(2組)
- ・ 沖縄の海はとても綺麗で、水族館でしか見ることのできない魚を直接見ることが出来て楽しかったです。(3組)
- ・ 自然の中で泳げて新鮮でしたし、色々な魚も見られたので良かったです。(4組)

実行委員にインタビュー

- ・ 宿泊実行委員会の活動は初めてだったので、少し緊張しました。ですが、皆のアンケートに3泊4日での記録が一つ一つ細かく記載されているのを見て、現地で生まれた沢山の思い出を改めて実感することが出来ました。(1組)
- ・ 大変だったのは、しおり作りと、千羽鶴の取りまとめです。しかし、皆で協力して作る時間はとても楽しかったです。3泊4日の長い臨海教室でしたが、班の皆と協力して楽しい臨海教室にすることができました。(2組)
- ・ しおり作成や3泊4日中のクワイエットへの伝達などは大変でしたが、良い経験になりました。(3組)
- ・ 既に書いた先生のお話をクラスの皆に遅れないように伝えることが大変でした。(4組)

実行委員長、副委員長より

- ・ 沖縄での臨海教室という大きなイベントで委員長として皆を引っばっていけるか不安でしたが、委員会の皆さんの協力もあり、素晴らしい3泊4日になりました。
(宿泊実行委員会 委員長 仲山智也)
- ・ 実行委員会で決まった事を皆さんがSNSに伝えて実行してくださった事が、今回の成功の鍵になったと思います。本当にありがとうございました。
(宿泊実行委員 副委員長 齊藤旭)